

# 愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業

社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山老人保健施設にぎたつ苑  
鎌田尚希(作業療法士)

※写真使用の承諾を頂いています

# にぎたつ苑

- 所在地 松山市山西町(松山市の西部)
- 開設 平成4年5月
- 併設 済生会松山病院
- 定員 80床(3フロア、ショート15床)
- 施設区分 **超強化型**(平成30年5月～)

- 事前アンケート(令和元年7月)

<b>介護職員</b>	<b>33名</b> ※産休あり
<b>年齢</b>	<b>37.4歳</b>
<b>性別</b>	<b>男3:女7</b>
<b>BMI</b>	<b>18.5～25</b>
<b>腰痛</b>	<b>あり(58%)</b>





# はじめに(これまでの課題)

- 頻回な入退所(多い日は15人/日)
- 移乗介助、起居動作介助、オムツ交換対象者が多い(要介護3/4/5:75%以上)。
- 夜勤介護職員は一人勤務となる時間が多い(3フロア)。
- なかなか施設にあった機器の導入や、またこれまで導入している器具の活用が効果的に行われていない。
- 業務の偏りがある(腰痛あり・なし、男・女)。

## 負担の大きい介護場面



# 目標

施設にあった機器の導入や、またこれまで導入している器具を効果的に活用

業務の偏りをなくす(腰痛あり・なし、男・女)

移乗ボード、シート、リフトなどを各階に導入

要介護高齢者の身体機能に即した介護技術や適した道具・機器を使った介護を提供する

介護者が腰痛など介護業務に不安なく働くことが出来る環境作りを進め、介護を受ける側と介護する側双方の負担軽減と介護の質の向上を目指す

離職防止や介護人材の安定的確保をしながら、生産性向上も同時に目指す



# 方法

ノーリフティングケア推進委員会  
「抱えない介護チーム」

管理者	医師(施設長)	1
リーダー	作業療法士	1
サブリーダー	介護	3
推進委員	介護	12
	理学療法士	2
	作業療法士	1
	看護	1
サポート	相談室	1
	居宅介護支援	1

## ノーリフティングケア宣言!

私たちは、介護する側・される側双方が安全で安心な  
「抱え上げない」「引きずらない」ノーリフティングケアを行います!

ストップ!

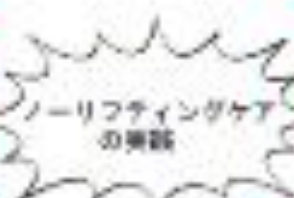


腰痛

ストップ!



二次障がい



令和元年7月  
モデル事業所指定



済生会松山老人保健施設にぎたつ苑



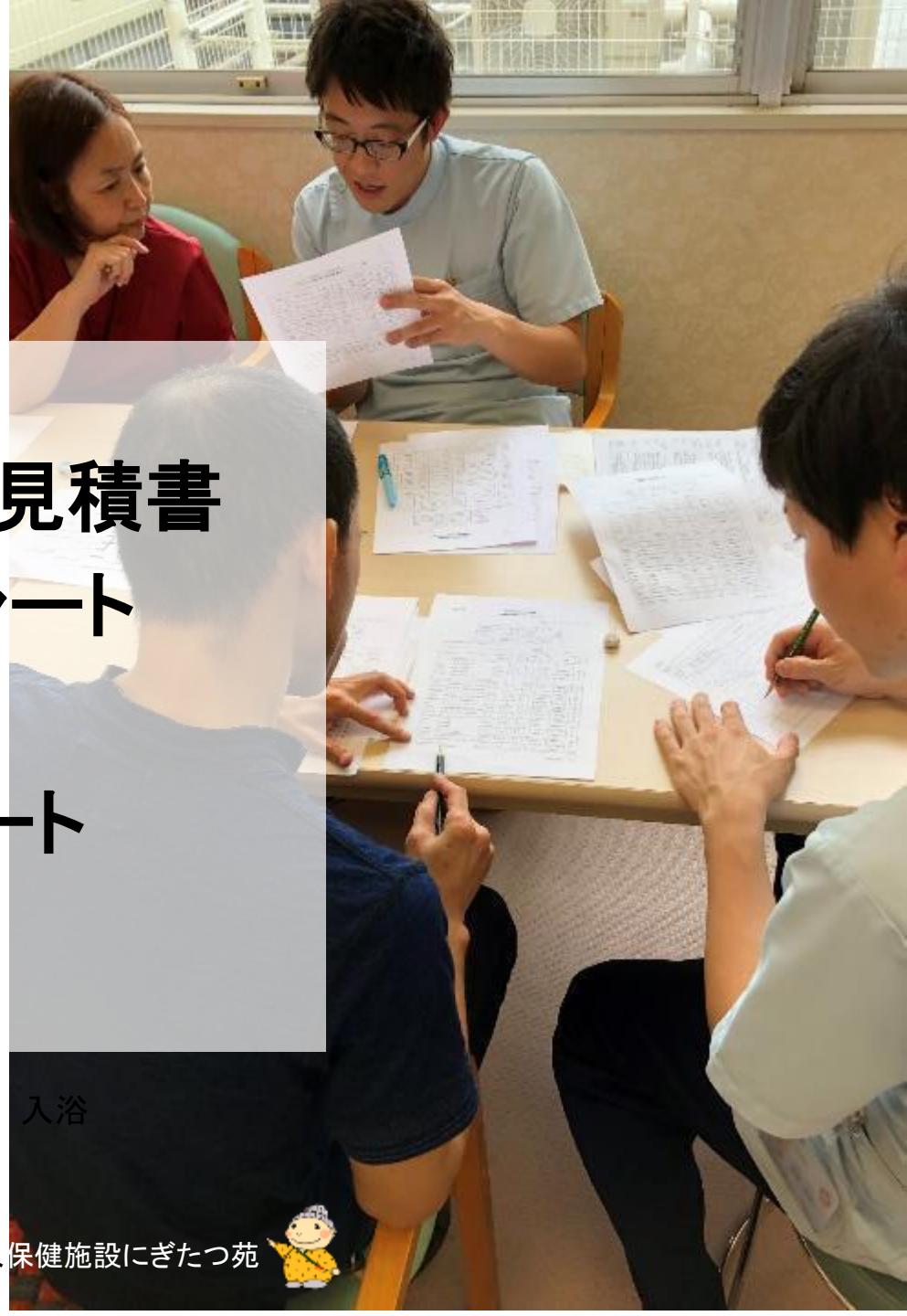
ぎたつ苑





# 方法

- ① 事前アンケート
- ② 要介護度別リスク見積書
- ③ 福祉用具選定チャート
- ④ 研修、機器導入
- ⑤ 習熟度チェックシート
- ⑥ 事後アンケート

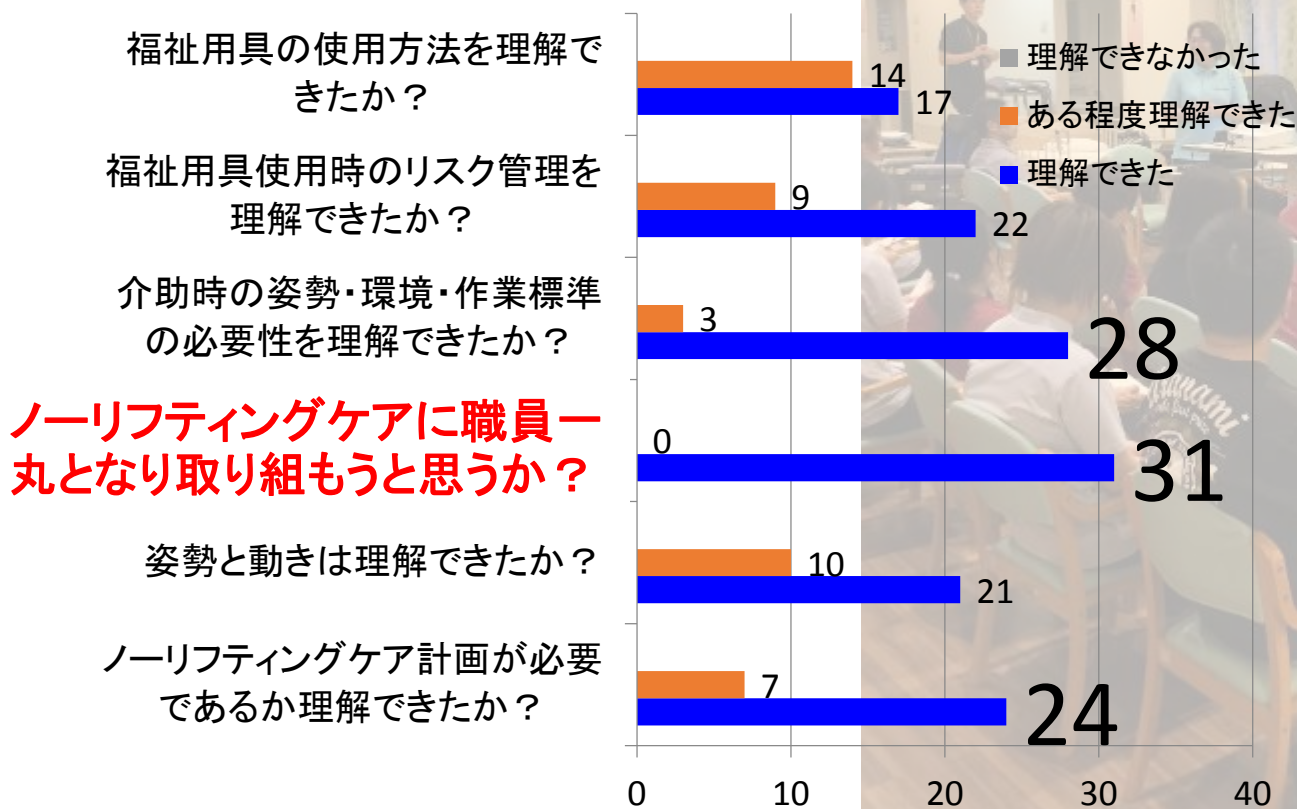


入浴



# 方法

- 研修(令和2年7月、31名)



# 経過

## ・福祉機器導入

	福祉用具	2階	3階	4階	浴室	リハ室	計
1	移座えもんシート S	4	4	4	0	4	16
2	移座えもんシート M	5	5	5	0	2	17
3	ターンテーブル	1	1	1	0	1	4
4	フレックスボード	1	1	1	1	0	4
5	イージーグライド	3	3	3	0	3	12
6	床走行式リフト	1	1	1	0	(1)	4
7	脚分離型シート S/M	2/2	2/2	2/2	2/2	(2/2)	10/10
8	ラクラックス	0	0	0	1	0	1

次年度購入予定

※今まであったもの(低床ベッド80、介助バー34、リクライニング車椅子8、ティルト車椅子7、ティルリク車椅子3、モジュール車椅子20、イージーグライド4)、介助ベルト2、POPOに追加





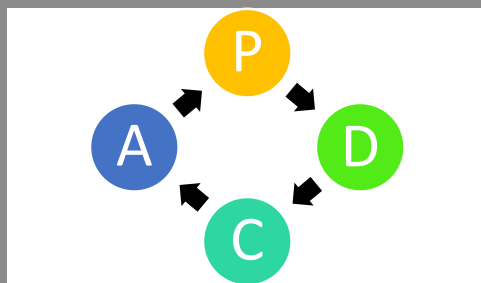
# 経過



動画マニュアル  
(グループウェアで共有)



「これだけ体操」  
東京大学 東大病院



チームミーティング  
(PDCA)



管理者会議  
ケアマネジメント委員会



# 経過

## 環境設定

	<b>車椅子</b>			<b>設置場所</b>	
	青	自立			使用時の移動時間 や距離を短縮
	黄	イージーグラ イド			
赤	リフト、フレック ススボード				
	<b>ベッド</b>			<b>食堂</b>	
	大腿部の位置に大 きな目印				必ず座って食事介 助



# 経過

## 難題にぶつかる



### 浴室

リフトでは更衣介助が困難

電動ベッド、ラクラックスを設置



### オムツ

吸収率の高いオムツを活用、正しく装着し、オムツ交換回数を減らす

現在、進行中



### トイレ

対象ご利用者に、床走行リフト、スタンディングリフトが合わない

現在、検討中





# 結果

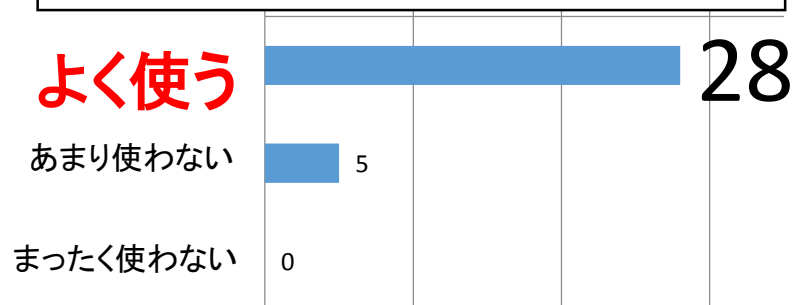
導入した機器を活用し、負担が減った

## ・事後アンケート(令和2年1月)

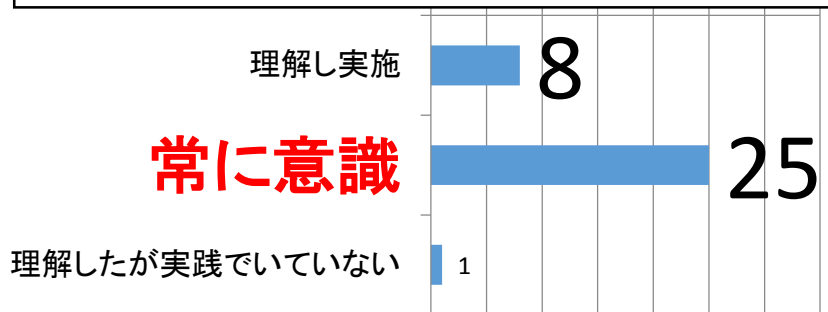
業務の前後の腰痛予防体操



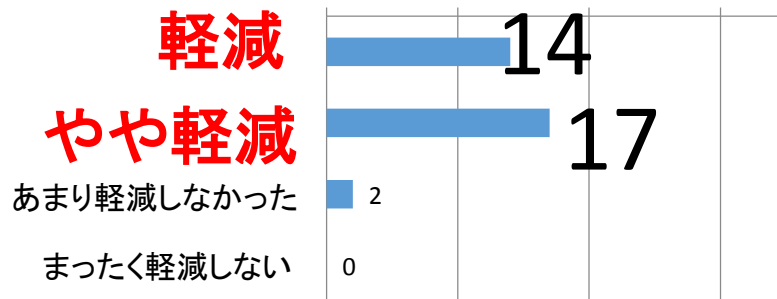
導入した用具・機器の活用状況



研修が業務に反映出来ている？



身体的負担

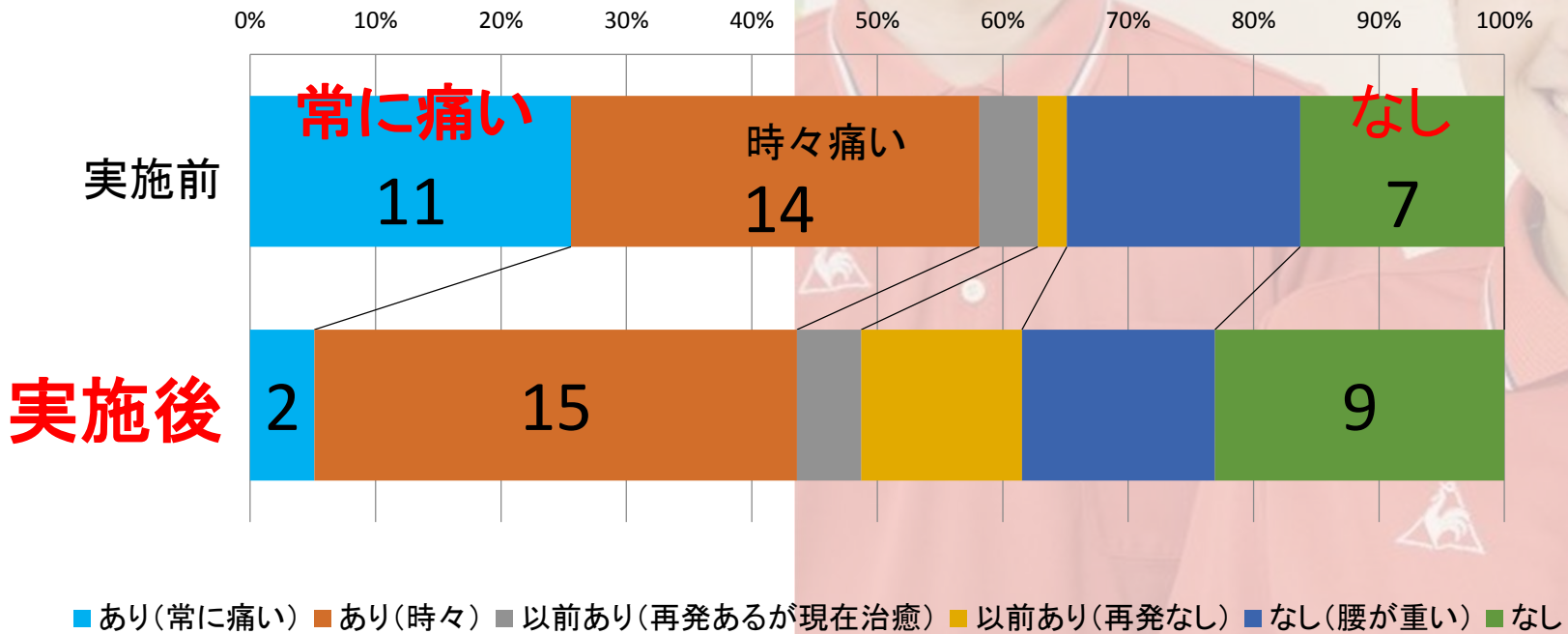


# 結果

## 腰痛減少

### ・実施後調査

### 腰痛状況



# まとめ

- 家族の介護負担の軽減
- 「自宅で過ごしたい」というご利用者の希望を叶える
- 機器やノーリフティングケアは、あくまで手段
- 職員が目標に向かって一体となる機会となった
- 通所リハビリでも開始







ご清聴ありがとうございました



[rihabiri@nigitatsu.saiseikai.or.jp](mailto:rihabiri@nigitatsu.saiseikai.or.jp)

<http://nigitatsu.saiseikai.or.jp>



済生会松山老人保健施設にぎたつ苑

